

武庫川流域委員会  
松本委員長様

武庫川流域委員会第 64 回運営委員会の検討項目として以下の提案をしますのでご検討のほどよろしく  
お願い申し上げます。

061002 流域委員 田村博美

8月30日の第49回流域委員会と知事への提言書の提出、これを受けた9月13日の第63回運営委員会での会議からずいぶん時間が経過し、残された多くの課題に対しどのように対応したらよいのか思案しているこの頃です。

河川整備上の課題については既に発表されたように着々と準備され、緊急治水対策事業として予算措置も万全です。しかし、同時に重要な対策として提言しています日常の川づくりや川と周辺のまちの魅力促進等に対しては流域として今後どのように対応されるのか皆目わかりません。

整備計画原案が提出される予定の今後3年間を無為に過ごさないためにも提言にある項目を一つでも実施すべく行動を起こしていくことが必要と考えます。

また、今後3年間流域委員として現状のまま存続するのか、休会中は一旦委員としての義務や制限が外れるのか等明確にしていきたいこともあります。

私の分野からこの趣旨に沿って有志による自主的検討項目として以下の提案をしますのでよろしくご検討くださいますようお願い申し上げます。

1. 武庫川流域圏会議(仮称)の発足準備

2. 武庫川カルテの作成、発行

別紙 第63回運営委員会資料提出済み

3. モデル計画および事業の検討

提言書で提案している事項の実現に向けてモデル的に検討を進める。たとえば以下のような内容。

橋と川を活かした三田中心市街地の川づくりと川まち交流拠点の検討

武庫川渓谷景観を活かす工夫と景観ミティゲーション手法の検討

宝塚中心市街地の川まち風景づくりと川まち交流拠点の検討

武庫川駅周辺河川狭窄区域の川まち連携整備の可能性検討

旧街道渡し跡整備と武庫川緑地景観整備および川まち交流拠点の検討

等々